

会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回戸田市環境審議会（書面会議）
開催日時	資料送付日：令和2年6月2日（火） 意見書提出期間：令和2年6月3日（水）から令和2年6月19日（金）
開催場所	（書面会議のため該当なし）
議 題	（1）戸田市環境基本計画及び戸田市地球温暖化対策実行計画の改定方針について （2）戸田市環境基本計画及び戸田市地球温暖化対策実行計画について （3）国・県・市の取組の現状について （4）戸田市の環境に関するアンケート結果について
会議結果	以下議事録のとおり

(会議の経過)

議題1：戸田市環境基本計画及び戸田市地球温暖化対策実行計画の改定方針について

	意見
①	生物多様性保全を改定の要点に記載していただきたい。
②	地球温暖化対策実行計画の目標・方向性は良いと思う。温室効果ガス削減目標については、施策と同様に部門別に定め、特に家庭部門の短期目標などは個別に定めるのが良いと思う。
③	戸田市第5次総合振興計画協働会議および地域協議会での意見が知りたい。後者は今後実施するものなのか。
④	改定方針として、近年の社会情勢や新たなテーマへの対応、具体的には気候変動適応策、SDGsへのアプローチ、食品ロス削減の推進を掲げている点が適切と思われる。特にSDGsについては、内部的には政策の見直し、対外的には市の強みの発信にもつながり、有効と思われる。2020年からパリ協定実施期間に入ったことから、気候変動対策はバックキャスティングで、着実な緩和策と早急な適応策を計画の中で打ち出すことが望まれる。
⑤	世の中の変化が速いため、計画の見直し期間が5年だと長すぎるような気がする。もしくは、3年目程度で振り返りの検証を行うのが良いと思う。

議題2：戸田市環境基本計画及び戸田市地球温暖化対策実行計画について

	意見
①	現行環境基本計画では生物多様性に関する内容が乏しいため、その点を改善していただきたい。
②	地球温暖化対策について。低炭素ライフスタイルの定着や家庭におけるエネルギーの見える化の推進などは、具体的に何をどうすれば良いかが示されていればよいと思う。特に家庭部門で目標を達成するための最重点課題が示されていれば良いと思う。また、短期・中期・長期の目標年が長いような気がする。
③	近年は災害が増えており、災害に対して強いエネルギーを選ぶ必要がある。
④	自動車に依存しないために、レンタサイクルの設置、駐輪スペースの確保などが望ましい。
⑤	プロジェクトにSDGsを当てはめるとわかりやすくなると思う。
⑥	今後作成する資料（例えば「戸田市の環境」令和元年度版が手元にある）に、CO ₂ および温室効果ガスの排出量産出（推計）について、具体的にどのような値を基に、どのように計算するのか。その詳細を盛り込みたい。
⑦	省エネルギー、CO ₂ 排出抑制のための施策として、太陽光発電設備導入補助の実数が挙げられている。これに加え、環境配慮型システム等設置・環境配慮型システム導入支援があがっているが、これの具体的な内容が不明である。今後は、省エネ住宅・事業所（断熱・冷暖房への地中熱利用など）への補助金も更に検討したらいかかが。
⑧	地球温暖化対策実行計画の産業・業務部門において、「大規模事業者向けの対策」「中小事業者向けの対策」とするのは、他の部門と比べやや抽象的な表現に感じられる。具体性は重点プロジェクトが参考になると思われる。
⑨	地球温暖化対策実行計画の地球温暖化への適応策について、緩和策と比べインパクトと具体性が乏しく感じられる。資料③6(3)市における気候変動への適応の取組が参考になると思われる。

議題3：国・県・市の取組の現状について

	意見
①	SDGsの基本的な考え方として、持続可能な自然を基盤として持続可能な社会があるという点にもふれて、自然や生物多様性の重要性について市民にわかりやすく説明していただきたい。
②	これまでの環境審議会で、生物多様性や自然に関する取組として、戸田ヶ原自然再生や水と緑のネットワークについての報告があり、意見を述べてきたが、資料③では生物多様性や自然について記載がないことに疑問を感じる。
③	温室効果ガス削減目標について、市と埼玉県で整合性が見られない。
④	530運動について、市の人口が増えた中で530運動参加者数が7%も減ったことをどう考えるか。
⑤	tocoバスについて、利用者数が増加している一方で、バス運行kmはほぼ横ばいとなっている。新たなルートの運行も必要と思われる。
⑥	市の取組の部分にSDGsをあてはめたほうがわかりやすいと思う。
⑦	地球温暖化は明らかに進んでいる。CO ₂ 排出削減目標もけっこうきついと思うが、国・県との関係もあるので、努力するしかないと思う。
⑧	埼玉県では大規模事業所に対する目標設定型排出量取引制度を推進している。これより小規模の事業所を対象に、市レベルで同様の取組ができないだろうか。
⑨	保存樹林・保存樹木が減ったことについて、詳しい状況を教えていただきたい。
⑩	家庭系ごみの資源化率、一般廃棄物のリサイクル率の低下の背景を教えていただきたい。
⑪	基本目標3の指標で、市内CO ₂ 排出量推計値の平成30年度値は、削減率だけとなっており排出量が示されていない。
⑫	近年はごみが減少してきたことは理解できた。2019年の台風被害、現在の新型コロナウイルス対策の活動自粛により、家庭のごみや産業廃棄物などが増えているはずなので、この間での数値を出せるとよいと思う。

議題4：戸田市の環境に関するアンケート結果について

	意見
①	自然や生物多様性についての施策を進めるという方向性があれば違う設問になったと思われる。
②	市民アンケート問5で市内の環境を良くしていく上で重要と思うことに関して、「自然災害からの安全性」「歩行者空間の快適さ」「自転車の利用しやすさ」「まちの清潔さやきれいさ」など、環境を良くすることに関心があるように思われる。
③	市民、事業者とも、対象数が少なく、適正な意見が反映されていないと思われる。回答率が低いのが残念である。
④	アンケート結果をどのように活かしていくのか、教えていただきたい。
⑤	530運動は町会に任せられており、新しい住民には伝わっておらず、知っている人だけが参加している感じである。良い活動なのでもっと案内できるようにしていきたい。また、市に問い合わせても町会に聞いてほしいと言われたり、町会に直接聞きにくいということも聞いている。
⑥	回答率が半分に届かず関心がない人が多数いると思われる。しかし、地球温暖化による環境変化は気象に最も如実に現れているので、関心も高いと思う。ポイ捨ても家の前でも結構多く、下水の穴へのタバコのポイ捨ては目に余る。環境問題に関心はあってもどう向き合えば良いか解らない人も多いのではないかと。環境フェアの時にでも、こんなやり方(マイボトル、環境講座など)もありますよとアピールしてはどうか。団体発表だけでは面白くないので、ミニ講座をしても良

	いと思う。
⑦	アンケートの対象はどのように選んだのか、教えていただきたい。
⑧	市民アンケート問2で「食品ロス問題」「プラスチックごみ問題」が関心の高い項目となったことは、市の政策課題と合致しており、対策推進への理解を得やすいと思われる。
⑨	市民アンケート問7で戸田市に期待する取組として「環境教育の推進」「環境意識の向上」が上がっていることは、市の取組が不十分なのではなく、市民の意識が高いと思われる。
⑩	市民アンケートの回答で参考になる意見が多数あった。このような貴重な意見を活かせる機会があると良いと思う。

その他（議題1から4以外での意見等）

	意見
①	生ごみを肥料にする活動に参加しており、市の取組は良いことと思っている。焼却灰は捨て場も遠く費用面でも大変と聞いている。もっと参加者が増えればごみの出し方も変わると思う。
②	環境審議会の開催を、2か月に1度程度まで増やしたほうが良いと思う。
③	環境マネジメントシステムの導入については、直接的な環境負荷削減にはつながらないと考えられるため、市による普及、助成等はいずれ廃止すべきと考える。導入事業者数は参考としてみれば良い。
④	前回の審議会ではSDGsを入れていくとの話であったが、これからの作業になるのか。
⑤	530運動は町内会が主体と手伝いをして、回収場所に持ち込み、町内会の方々の交流もありますが、若い世代は町内会に入っていないから、参加しにくいのかもかもしれない。
⑥	自分は風呂敷を使ってポリ袋を使わない活動をして、マイボトルを持ち歩いてペットボトルを買わない、マイ箸を使うことを推進している。微々たることだが、全てはその積み重ねと思う。
⑦	環境問題の多様な課題に目配りしながら、環境問題の最近のトレンドを押さえており、しっかりした環境行政が行われていることを確認することができた。今後は、異常気象による自然災害への迅速対応、COVID-19（新型コロナウイルス）のような感染症への対策、アフターコロナの環境と経済、地域政策のSDGsへの紐づけ、地域循環共生圏の構築、小さなところではレジ袋完全有料化の効果など、さらに新たな課題への取組が求められると思われる。